



The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会

第40回記念大会

大会
テーマ

Omnipresence—遍照

プログラム・発表論文集

会期

2021年

8月28日(土)～29日(日)、

9月5日(日)

方法

Zoomによるオンライン開催

大会準備委員長

金子 周平 九州大学

事務局長

山口 雄介 日本経済大学



JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会 第40回記念大会

Omnipresence—遍照

プログラム・発表論文集

会期 2021年 8月 28日(土) ~ 8月 29日(日)、
9月 5日(日)

方法 Zoomによるオンライン開催

INDEX

ご挨拶	1
日本人間性心理学会第40回記念大会 開催概要	2
大会日程	3
参加者の皆さまへのご案内	5
座長の先生方へのご案内	6
研究発表・自主シンポジウムを行う方へのご案内	7
ランチタイム交流スペースのご案内	8
講演一覧	9
大会主催 ワークショップ一覧	10
自主シンポジウム一覧	11
口頭発表一覧	12
ポスター発表一覧	15
発表論文集	
記念企画	18
学会賞受賞記念講演	19
大会主催 ワークショップ	22
自主シンポジウム	30
口頭発表	36
ポスター発表	52
発表演者索引	73
大会準備委員会	74
協賛／賛助会員	75
日本人間性心理学会 歴代大会一覧表	76

ご 挨拶

日本人間性心理学会第40回記念大会

大会準備委員長 金子 周平

日本人間性心理学会第40回記念大会は、Covid-19の感染状況を鑑み、全面オンラインで開催することになりました。オンラインでの大会開催は、前回に続き2回目で、未だ収束しない感染状況を考えますと止むを得ない選択でございました。しかし、計画を進めてまいりますうちに、オンライン実施の学会には多くのメリットがあることにも気づくようになりました。これまでは仕事やプライベートのご都合、障害やご病気のために遠出ができなかった方も、大会に参加できる可能性が高くなること（アクセシビリティの高さ）、日程の分散が容易であること、天候などによる中止のリスクが少ないことなどです。このことにより、多くの皆様がワークショップ、学会発表、記念企画「知の伝承」、学会賞受賞記念講演の内容に触れることができますことを大変嬉しく思っております。

さて、今回の大会テーマはOmnipresence - 遍照です。多くの方々にとっては聞き慣れない言葉かと思いますが、この言葉にはオンラインならではのメリットを活かした大会にしたいという意味が込められています。通常、学会が行う大会では、そこで企画される講演やワークショップ、学会発表の内容が重要ですが、学会をsociety、communityと捉えるならば、大切なのは内容だけではなかったはずです。その場に一人ひとりの発表者や講師が“存在すること - presence”の意味は、特に「対話」「関係」「場」「身体」等を重視してきた本学会にとっては大きかったのではないかと思います。そうであるからこそ、物理的な場を共有できないオンライン大会においても、いかに一人ひとりの“存在”をパソコンやタブレットの画面から滲み出させることができるか、そしていかに人のそれを感じ取ることができるかが、皆様に共通するテーマではないかと考えました。オンラインのアクセシビリティを活かして、これまであまり光が当てられなかった内容、テーマ、関係などを通して、皆様の“存在”が照らされて瞬くような大会にしたいという願いが大会テーマに込められています。

オンライン学会で残念なことの一つは、会場で久しぶりに顔をあわせるなどの機会がないことです。従来は対面で実施されていた懇親会も行うことができません。そうしたデメリットを補うために「ランチタイム交流スペース」も準備しております。そのようなインフォーマルな部分も含め、ぜひ、本大会を新しい大会参加のあり方にチャレンジする機会になさってください。

日本人間性心理学会第40回記念大会 開催概要

テーマ

「Omnipresence – 遍照」

- 会 期 2021年8月28日(土)～8月29日(日)、9月5日(日)
- 方 法 Zoomによるオンライン開催
- 主 催 日本人間性心理学会第40回記念大会準備委員会
- 大 会 HP <https://www.2021jhpc.org/>
- 準備委員 委 員 長 金子 周平
事務局長 山口 雄介
準備委員 金子 光代 顧 佩靈 古賀なな子
佐竹 圭介 高松 里 田中 将司
田村 隆一 友清由希子 新村 信貴
福盛 英明 松下 智子 村久保雅孝
本山 智敬 森川 友子 山口 祐子
- 大会補佐 大会推進委員 石田 妙美 松本 剛 三國 牧子
- 日本人間性心理学会事務局 村松 果多
- 大会日程 8月28日(土)
10:00～16:00 ワークショップ
※企画活動・研修委員会主催ワークショップ「ベーシックエンカウンターグループ」は会期前の8月27日(金)と28日(土)の2日間開催
16:15～17:15 口頭発表・ポスター発表
17:30～19:30 自主シンポジウム
- 8月29日(日)
9:30～17:30 口頭発表
10:00～11:00 ポスター発表
12:30～13:00 総会報告等
13:20～14:30 ランチタイム交流スペース
- 9月5日(日)
10:00～11:30 学会賞受賞記念講演
- ※(詳細は「大会日程」のページをご覧ください)。

- 事務局 日本人間性心理学会第40回記念大会準備委員会 事務局
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
九州大学大学院人間環境学研究院 金子研究室内
E-mail: 2021jhpc@gmail.com

8月27日金

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
ルーム F	10:00～16:00	WS-6 ベーシック・エンカウンター・グループ 三國 牧子・石田 妙美								

8月28日土

※は連名発表

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
ルーム A	10:00～16:00	WS-1 できごとを捉えるための現象学的アプローチ 大塚 類・遠藤 野ゆり								
ルーム B	10:00～16:00	WS-2 心理臨床にフォークシングを活かす 吉良 安之								
ルーム C	10:00～16:00	WS-3 パーソン・セントラード・セラピーの実務 中田 行重								
ルーム D	10:00～16:00	WS-4 心理臨床家の Personal Development 永野 浩二								
ルーム E	10:00～16:00	WS-5 内なる多様性を慈しむワークショップ 平井 達也								
ルーム F	10:00～16:00	WS-6 ベーシック・エンカウンター・グループ 三國 牧子・石田 妙美								
ルーム G	10:00～16:00	WS-7 平和構築のワークショップ 吉川 麻衣子								
	16:15～17:15	O1-1 草岡 章大* 座長：中地 展生								
	16:15～17:15	O1-2 軽野 誠輝 座長：桑野 浩明								
	16:15～17:15	O1-3 小林 純子 座長：田代 順								
	17:30～19:30	S-1 どうやったらできるのか、に応えるためにできることを考察する 矢野 キエ								
	17:30～19:30	S-2 諸領域の交差はどのように可能か？ —フェルトセンスが交差を可能にすることをめぐって— 飯嶋 秀治								
	17:30～19:30	S-3 PCAは本当に絶滅危惧種なのか？ 三國 牧子								
	17:30～19:30	S-4 コロナ禍における心理学の実践 —基礎心理学と人間性心理学の交差VI— 宮田 周平								
	16:15～17:15	ポスター発表 I P1-1～P1-8								

8月29日

※は連名発表

ルーム A	9:30～11:00 O2-1 鶴田 一郎 座長：内田 利広	11:00～12:00 ロジャーズの「ユニオン神学校」入学と、その後の「カウンセラーへの転身」について	12:00～13:00	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00 O4-1 吉永 侖奈* 座長：松本 剛	16:00～17:00 現代社会におけるアイドルと生きがいについての検討
	9:30～11:00 O2-2 押江 隆* 座長：井出 智博	11:00～12:00 遠きとありて思うもの：オンラインPCAGIPの実践と検討	12:00～13:00	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00 O4-2 菅 佳菜美 座長：小林 孝雄	16:00～17:00 トライアル・カウンセリングの「クライアント体験」報告とその考察
	9:30～11:00 O2-3 新村 信貴 座長：松井 幸太	11:00～12:00 類似する実践との比較におけるファミリー・グループの共通性・独自性に関する一考察	12:00～13:00	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00 O4-3 森川 友子* 座長：中田 行重	16:00～17:00 「就活支援のための共生的体験過程尊重尺度」作成の試み(第1報) —プロトタイプの開発—
ルーム B		11:15～12:15 O3-1 本城 遼 座長：橋本 忠行	12:00～13:00 女子学生における完全主義認知が食行動異常傾向に与える影響の検討	13:00～14:00	14:00～15:00		16:00～17:00 O5-1 大塚 類 座長：森岡 正芳
		11:15～12:15 O3-2 白井 祐浩* 座長：吉良 安之	12:00～13:00 従来の臨床家訓練と新しい臨床家訓練はどう違うのか？事例検討、PCAGIP法、Therapist Centered Trainingの比較	13:00～14:00	14:00～15:00		16:00～17:00 O5-2 吉田 美波 座長：下田 節夫
		11:15～12:15 O3-3 中鉢 路子* 座長：安部 恒久	12:00～13:00 精神病理の重いクライアントと場を共にする体験とその難しさについて —Rogersのpresence 概念を手掛かりに—	13:00～14:00 ランチタイム 交流スペース	14:00～15:00		15:00～16:00 発達特性のある子どもたちの生きづらさをリズムの観点から読み解く —支えることと導くことの探究に向けて—
ルーム G	10:00～11:00 ポスター発表 II P2-1～P2-7	11:00～13:00 2021年度 総会 報告等					

9月5日

ルーム G	10:00～11:30 学会受賞記念講演 池見 陽 司会：金子 周平	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00	16:00～17:00

参加者の皆さまへのご案内

■参加受付

受付はございません。各自、大会サイトでご案内する参加者用マニュアルに記載された手順で参加を希望する Zoom のミーティング等にご参加ください。

■領収書発行について

領収書は大会終了後、8月30日(月)10:00～10月31日(日)24:00の期間中下記のサイトに「領収書発行」ページがオープンいたしますので、ご自身でご発行いただきますようお願いいたします。
<https://va.apollon.nta.co.jp/2021jhpc/>

■大会参加にあたっての留意事項

大会の録音・録画・画面共有・スクリーンショットの撮影等は禁止となっております。
資料の撮影や再配布等もおやめください。申込時に入力いただいたアカウントで参加頂けるのはお申込者本人1名のみです。1つのアカウントで複数人の参加はご遠慮ください。

■大会期間中の問い合わせ窓口

大会期間中に何かございましたら、下記のアドレスまでご連絡ください。

オンラインに関連した問い合わせ：jhpc2021help@gmail.com

その他、大会全般に関する問い合わせ：2021jhpc@gmail.com

■大会に関する情報発信について

大会ホームページにて、随時、情報を発信しております。<https://www.2021jhpc.org/>
また、大会 Twitter アカウントを開設しています。大会に関するアナウンスをすることがありますのでご活用ください。twitter.com/2021jhpc

■臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加とワークショップ参加はそれぞれ別途、ポイントが発生します。領収書(コピー可)が大会・ワークショップの参加の証明として使用できます。学会期間終了後、システム上に「領収書発行」ボタンが出るようになります。そこをクリックして頂くと、「新規領収書入力」ができる画面に行きつきます。そこで、宛名(ご自身で入力)、金額(入金額内の金額であれば、大会参加とワークショップに分けて発行可能)を入力して頂き、但し書きの選択肢を選んでください。

領収書は大切に保管して、各自で申請してください。

※9月5日(日)に開催される学会賞受賞記念講演(一般公開・無料)のみの参加ではポイント申請できませんので、ご注意ください。

■大会事務局の連絡先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学大学院人間環境学研究院金子研究室内 事務局長 山口 雄介

E-mail：2021jhpc@gmail.com

※大会事務局へのご連絡は、メールでお願いいたします。

座長の先生方へのご案内

■ 座長の役割について

座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。事前に発表者と打ち合わせをして、ご自分のスタイルでお役をおつとめください。滞りのない進行をお願いいたします。

■ 発表時間について

ご担当の研究発表は、発表開始10分前までに事前にご連絡したミーティングルームから入ってください。

発表前にスタッフより、オンライン発表に関する説明をいたします。

時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。

発表前に、座長から発表の録画・録音の禁止、迷惑行為の禁止等について、アナウンス、確認をお願いします。

次のセッションのために、時間内に発表が終わるようにご協力のほど、なにとぞよろしく願いいたします。

■ 欠席の際の連絡先について

諸事情により、万一座長を担当いただくことができなくなった場合には、日本人間性心理学会 第40回記念大会準備委員会 事務局 (2021jhpc@gmail.com) までご連絡ください。

■ 座長マニュアルについて

後日、第40回記念大会サイトにマニュアルを掲載予定です。ご確認いただければ幸いです。

研究発表・自主シンポジウムを行う方へのご案内

1. 自主シンポジウム、口頭発表、ポスター発表(リアルタイム)を行う方へのご案内

■ 安定した通信環境の確保

発表やディスカッションは Zoom 上で行います。各自、安定した通信環境の確保をお願いいたします。

■ 発表時間について

全ての発表者は、発表時間と発表会場を確認し、発表開始時刻10分前には Zoom のミーティングルームに入室してください。また、次のセッションがすぐに開始する場合がありますので、終了時間は厳守してください。

■ 発表者用マニュアルについて

第40回記念大会サイトにマニュアルを掲載予定です。事前にご確認ください。

■ 配布資料について

配布資料がある場合は、8月12日(木)までに大会事務局までメールで送ってください(2021jhpc@gmail.com)。メールのタイトルには発表番号・発表代表者氏名をご記載ください。なお、配布資料は当該発表参加者だけでなく、大会参加申し込み者全員が、大会サイトから閲覧できるようになりますので、ご注意ください。

■ 発表取り消しについて

やむを得ない事情で発表取り消しをする場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第40回記念大会準備委員会 事務局(2021jhpc@gmail.com)にご連絡ください。

2. 口頭発表を行う方へのご案内

事前に発表者・座長にそれぞれの連絡先をお知らせします。メール・電話・Zoomなどで事前に連絡を取り、打ち合わせをお願いします。論文集以外に配布資料がある場合は、事前に担当座長に資料をお送りください。

3. ポスター発表(オンデマンド)を行う方へのご案内

ポスター発表(オンデマンド)で発表される方は、8月12日(木)までにポスター原稿を PDF ファイルで日本人間性心理学会第40回記念大会事務局(2021jhpc@gmail.com)に送付してください。

ランチタイム交流スペースのご案内

「ランチタイム交流スペース」は、学会初の企画となります。

Zoomにて、自由に交流を持っていただくものです。

学会会場にある喫茶店みたいな感じになればなあと思っております。アフタヌーンティーを楽しむ感じでやりましょう。こちらで、「雑談しよう」「テーマ別分科会」などのチャンネルを作っておきます。なんとなく惹かれるところに入っていただきます。

また、参加者の皆さんからのリクエストも歓迎します。仲間を見つけて、「やあ久しぶり元気にしてた？」みたいな会合や、「さっきの発表のこと、もっと議論したい」といった希望があればチャンネルを作ります。さらに「〇〇時から Zoom で飲み会をやるので、参加して欲しい」といった呼びかけも歓迎です。

皆様、どうぞふるってご参加ください。

講演一覧

日時：8月28日(土)～9月5日(日) 会場：オンデマンド配信

記念企画

p18

知の伝承

講師：

梶田 叡一

倉戸 ヨシヤ

田畑 治

筒井 健雄

村本 詔司

村山 正治

日時：9月5日(日) 会場：ルームG (Zoom)、オンデマンド配信

学会賞受賞記念講演 (一般公開) 10:00～11:30

p19

司会：金子 周平(九州大学)

旅路に眺める心景色 ～道ゆく人々の間にて～

池見 陽(関西大学大学院 教授)

大会主催 ワークショップ一覧

大会主催ワークショップ

日時：8月28日(土) 10:00～16:00

※ WS-6 企画活動・研修委員会主催のワークショップ「ベーシック・エンカウンター・グループ」は、8月27日・28日の2日間開催

コース	ワークショップ	講師	会場	ページ
WS-1	できごとを捉えるための現象学的アプローチ	大塚 類 (東京大学 准教授) 遠藤 野ゆり (法政大学 教授)	ルーム A	22
WS-2	心理臨床にフォーカシングを活かす	吉良 安之 (九州大学 名誉教授)	ルーム B	23
WS-3	パーソン・センタード・セラピーの実務	中田 行重 (関西大学 教授)	ルーム C	24
WS-4	心理臨床家の Personal Development	永野 浩二 (追手門学院大学 教授)	ルーム D	25
WS-5	内なる多様性を慈しむワークショップ	平井 達也 (立命館アジア太平洋大学 教授)	ルーム E	26
WS-6	ベーシック・エンカウンター・グループ	三國 牧子 (九州産業大学 准教授) 石田 妙美 (東海学園大学 教授)	ルーム F	27
WS-7	平和構築のワークショップ	吉川 麻衣子 (沖縄大学 教授)	ルーム G	28

自主シンポジウム一覧

自主シンポジウム

日時：8月28日(土) 17:30～19:30

No	シンポジウム	会場	ページ
S-1	<p>どうやったらできるのか、に応えるためにできることを考察する</p> <p>矢野 キエ(大阪キリスト教短期大学) 三木 健郎(備前市立片上認定こども園) 内田 利広(龍谷大学)</p>	ルーム D	30
S-2	<p>諸領域の交差はどのように可能か？ —フェルトセンスが交差を可能にすることをめぐって—</p> <p>飯嶋 秀治(九州大学 人間環境学研究院) 村里 忠之(村里心理療法研究所) 高橋 寛子(山梨英和大学) 吉良 安之(九州大学 名誉教授) 森岡 正芳(立命館大学)</p>	ルーム E	31
S-3	<p>PCA は本当に絶滅危惧種なのか？</p> <p>三國 牧子(九州産業大学 人間科学部) 加藤 敬介(堀クリニック) 岡村 心平(神戸学院大学 心理学部) 押江 隆(山口大学 教育学部) 押岡 大覚(聖泉大学 人間学部)</p>	ルーム F	32
S-4	<p>コロナ禍における心理学の実践 —基礎心理学と人間性心理学の交差VI—</p> <p>宮田 周平(鎌倉女子大学 児童学部) 久羽 康(大正大学 心理社会学部) 榎本 光邦(群馬パース大学 教養部) 藤木 大介(広島大学大学院 人間社会科学研究科)</p>	ルーム G	33

口頭発表一覧

口頭発表Ⅰ (60分)

日時：8月28日(土) 16:15～17:15

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O1-1	初任セラピストの自己開示と職業的発達に関する 質的研究のメタ分析 草岡 章大(北海道大学大学院 教育学院 臨床心理学講座博士後期課程) ※連名	中地 展生	ルーム A	36
O1-2	理想自己と現実自己の差異が自己嫌悪感情に及ぼす影響 軽野 誠輝(帝塚山大学 心理科学研究科 心理科学専攻)	桑野 浩明	ルーム B	37
O1-3	症状が心身へなじむことの臨床的意味 小林 純子(九州産業大学 人間科学部 臨床心理学科)	田代 順	ルーム C	38

口頭発表Ⅱ (90分)

日時：8月29日(日) 9:30～11:00

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O2-1	ロジャーズの「ユニオン神学校」入学と、 その後の「カウンセラーへの転身」について 鶴田 一郎(広島国際大学 健康科学部)	内田 利広	ルーム A	39
O2-2	遠きにありて思うもの：オンライン PCAGIP の実践と検討 押江 隆(山口大学 教育学部) ※連名	井出 智博	ルーム B	40
O2-3	類似する実践との比較における ファミリー・グループの共通性・独自性に関する一考察 新村 信貴(九州大学大学院 人間環境学府人間共生システム専攻 博士後期課程)	松井 幸太	ルーム C	41

口頭発表Ⅲ (60分)

日時：8月29日(日) 11:15～12:15

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O3-1	女子学生における完全主義認知が食行動異常傾向に与える影響 調整要因としてのセルフ・コンパッションの検討 本城 遥(帝塚山大学大学院 心理科学研究科心理科学専攻 臨床心理学専修)	橋本 忠行	ルームD	42
O3-2	従来の臨床家訓練と新しい臨床家訓練はどう違うのか? 事例検討、PCAGIP法、Therapist Centered Trainingの比較 白井 祐浩(志学館大学 人間関係学部) ※連名	吉良 安之	ルームE	43
O3-3	精神病理の重いクライアントと場を共にする体験と その難しさについて —Rogersのpresence概念を手掛かりに— 中鉢 路子(青山学院大学) ※連名	安部 恒久	ルームF	44

口頭発表Ⅳ (60分)

日時：8月29日(日) 15:00～16:00

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O4-1	現代社会におけるアイドルと生きがいについての検討 吉永 伶奈(山口大学大学院 教育学研究科 学校臨床心理学専攻) ※連名	松本 剛	ルームA	45
O4-2	トライアル・カウンセリングの 「クライアント体験」報告とその考察 菅 佳菜美(跡見学園女子大学大学院 人文科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程)	小林 孝雄	ルームB	46
O4-3	「就活支援のための共生的体験過程尊重尺度」作成の試み(第1報) —プロトタイプの開発— 森川 友子(九州産業大学 人間科学部) ※連名	中田 行重	ルームC	47

口頭発表 V (60分)

日時：8月29日(日) 16:30～17:30

No	演題名・発表者	座長	会場	ページ
O5-1	場面緘黙について現象学的に考える 大塚 類(東京大学大学院 教育学研究科)	森岡 正芳	ルームD	48
O5-2	大学院授業における「積極的傾聴」の実習体験と報告と考察 吉田 美波(跡見学園女子大学 人文科学研究科 臨床心理学専攻)	下田 節夫	ルームE	49
O5-3	発達特性のある子どもたちの生きづらさをリズムの観点から読み解く —支えることと導くことの探究に向けて— 遠藤 野ゆり(法政大学 キャリアデザイン学部)	伊藤 義美	ルームF	50

ポスター発表一覧

ポスター発表Ⅰ（60分）

日時：8月28日（土） 16:15～17:15

No	演題名・発表者	会場	ページ
P1-1	自己の内面で行われる感情労働の実態 —インタビューの質的分析によるカテゴリー生成— 大塚 弥生（南山大学 教職センター・法学部）※連名	ルーム G ブレイク アウト ルーム	52
P1-2	犯罪被害者等が抱える二次被害への適切な対応の検討 ～“声かけ”という視点から～ 藤 竜大（九州産業大学大学院 国際文化学部 国際文化研究科 国際文化専攻 臨床心理学研究分野）※連名		53
P1-3	いじめにおいて援助を求めやすい教師像についての探索的検討 鳥越 虎太郎（志學館大学大学院 心理臨床学研究科）		54
P1-4	TAE を用いて心理的援助者としての “よりどころとなるもの”を捉え直す過程の研究 山下 佳久（明治大学大学院 文学研究科 臨床人間学専攻 臨床心理学専修）		55
P1-5	母子生活支援施設に見る心理的支援 —その独自性と特徴について— 須崎 暁世（関西国際大学 現代社会学部 総合社会学科）		56
P1-6	「精神障害を生き抜くとはいかなることか」を多様性にひらく —第4報 D さんへのインタビューから— 松田 康子（北海道大学教育学研究院）		57
P1-7	成人における「フォーカシング的態度」と自己効力感、ソーシャル・スキル、 Locus of Control の関係について 土井 晶子（神戸学院大学 心理学部）※連名		58
P1-8	新型コロナウイルス感染症と留学生カウンセリング —オンラインカウンセリングの特徴と留学生の心理— 高松 里（九州大学）※連名		59

ポスター発表Ⅱ（60分）

日時：8月29日（日） 10:00～11:00

No	演題名・発表者	会場	ページ
P2-1	過剰適応傾向の人の自分への優しさのイメージについて 濱村 星花（九州産業大学大学院 国際文化研究科 博士後期課程）	ルーム G ブレイク アウト ルーム	60
P2-2	主体的学修への認識および対面・遠隔時の学習時間の比較検討 友納 艶花（九州女子大学 人間科学部）		61
P2-3	子どもの貧困に対する食支援についての研究 中尾 陽子（南山大学 経営学部）		62
P2-4	養護教諭としてのコミュニケーション能力を高める指導 —集団討論でのファシリテーションに着目した指導— 石田 妙美（東海学園大学 教育学部）※連名		63
P2-5	若年者が友人から自傷行為を開示された際のつなぎ行動プロセス 森 陽平（九州大学大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻）		64
P2-6	新型コロナウイルスに関する経験は、どのように語られるのか —モノログとダイアログの比較— 井内 かおる（福岡市こども総合相談センター）※連名		65
P2-7	オンラインによる PCAGIP の試み —対面との比較検討— 内藤 裕子（東北福祉大学）		66

ポスター発表（オンデマンド）

No	演題名・発表者	会場	ページ
PO-1	在日ネパール人留学生のアルバイト就労とメンタルヘルスの関連 山口 雄介（日本経済大学 経済学部 経営法学科）	オンデ マンド	67
PO-2	ひきこもり支援団体の実態調査 山口 祐子（帝塚山大学 心理学部）※連名		68
PO-3	社交不安症者が認知した人的資源との体験プロセス 古賀 なな子（九州大学大学院 人間環境学研究院）		69
PO-4	がん哲学外来「ピアカフェ」参加者の気分変化の検討 酒井 久実代（和洋女子大学 人文学部 心理学科）		70
PO-5	半構成的エンカウンター・グループにおける感情の変化および 期待・満足感が心理的成長に及ぼす効果 水野 邦夫（帝塚山大学 心理学部）		71

講演

日本人間性心理学会第40回記念大会 記念企画

「知の伝承」

企画概要

日本人間性心理学会が開催する大会は、2021年度で第40回を迎えます。この記念すべき大会において、第13期理事会が構想しておりました「人間性心理学の“知”の伝承」が一つの形になります。

本企画では、これまで人間性心理学会を牽引してこられた名誉会員のうち6名の先生方に、人間性心理学とその魅力について語っていただきました。学会員の皆様にとっても、学会員でない方にとっても、人間性心理学とは何かについて学び、考えることができる内容となっております。さらには、シリーズ全体を視聴することを通して、「人間性とは何か」という根源的な問いにも触れることができることでしょうか。

人間性心理学が、新しい時代に適応していくということはどういうことなのか？時代が変わっていく中で、私たちが見失ってはいけない人間性心理学の核とは何か？その答えは一人ひとり違うはずですが、人間性心理学の「知」を伝えるこれらの動画の中に多くの示唆がございます。ぜひご視聴ください。

日時：2021年8月28日（土）～9月5日（日）の大会期間中

多くの内容は、大会期間後も随時オンデマンドで視聴可能とする予定です。

方法：本大会特設サイト、大会サイト、もしくは学会サイトにて動画公開

*大会参加者限定の動画と一般公開の動画がございます。

*詳細は本大会サイト (<https://www.2021jhpc.org/>)にてご案内いたします。

「知の伝承」動画 名誉会員一覧

- 梶田 叡一 先生
- 倉戸 ヨシヤ 先生
- 田畑 治 先生
- 筒井 健雄 先生
- 村本 詔司 先生
- 村山 正治 先生

(五十音順)

日本人間性心理学会第40回記念大会
学会賞受賞記念講演

旅路に眺める心景色 ～道ゆく人々の間にて～

日 時：2021年9月5日（日）10:00～11:30

方 法：ルーム G (Zoom)、オンデマンド配信（一般公開・無料）
*詳細は本大会サイト (<https://www.2021jhpc.org/>) にてご案内いたします。

講 師：池見 陽（関西大学大学院心理学研究科 教授、臨床心理士、医学博士）

講師紹介：池見 陽（いけみ あきら）

1979年に Boston College, School of Arts and Sciences 卒業、1980年に University of Chicago, Division of Social Sciences 大学院修士課程修了。

同大学院にて心理療法フォーカシングの創始者である哲学者ユージン・ジェンドリン博士のもとで学ぶ。

1980年より北九州市立医療センター(旧北九州市立小倉病院)心療内科で勤務。

1983年より産業医科大学にて精神生理学の研究に従事し、1988年に医学博士を取得。岡山大学教育学部助教授、神戸女学院大学助教授・教授、関西大学文学部教授を経て、2009年より関西大学大学院心理学研究科教授となる。

日本人間性心理学会常任理事、日本フォーカシング協会会長、第21回フォーカシング国際会議実行委員長、第1回アジア・フォーカシング国際会議大会会長、The International Focusing Institute 理事(USA)、WAPCEPC 理事(UK)などを歴任。

非常勤講師として九州大学、静岡大学、兵庫教育大学、University of Strathclyde など多数。その他、University of East Anglia (UK), University of Sydney (Australia)などで博士論文審査官。

A series of 25 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

口頭発表

初任セラピストの自己開示と職業的発達に関する質的研究のメタ分析

○草岡 章大¹⁾、渡邊 誠²⁾

1)北海道大学大学院 教育学院 臨床心理学講座 博士後期課程、2)北海道大学大学院 教育学研究院

keyword：初任セラピスト、職業的発達、自己開示

【問題と目的】近年、初任セラピスト(Th)の自己開示体験と職業的発達の関連を扱ったいくつかの質的研究が発表されているが、研究数が少なく全体像の把握には至っていない。本研究では、「初任Thの自己開示体験が職業的発達に及ぼす影響」をリサーチ・クエスチョンとして質的研究のメタ分析を行い、全体的過程を検討した。

【方法】複数のデータベースで「セラピスト therapist/心理士 psychologist/カウンセラー counselor」、「初心 begin(ner)/初任 novice/訓練 train(ee)」、「自己開示(self-)disclos(ure)」、「質的 qualitative」の語を用いて検索し、本研究の目的に合致した Bottrill et al. (2010)の研究1件が得られた。これに、草岡・渡邊(2019)及び草岡(印刷中)の2件を加えた計3件を一次研究とした。本研究では、Levitt(2018)による質的メタ分析法に準じて、①一次研究のデータ形式を揃える、②類似概念の結合によるカテゴリ生成、③上位カテゴリへの統合可能性の検討と実行の、大きく3段階の分析手順を経た。

【結果】89個の一次データから9つのカテゴリが得られ、「Ⅰ セラピストとして正しくない方法を用いればセラピーを壊してしまいかねない」、「Ⅱ クライエントの役に立ちたい思いが高まり葛藤を乗り越えて個人的側面をクライアントに示す」、「Ⅲ 自己開示体験を振り返り柔軟で主体的な自分らしいセラピストとしてのあり方を模索する」の3つの上位カテゴリにまとめられた。

【考察】初任Thは、自己開示がセラピーを壊しかねないという不安やおそれから自己開示に抑制的である。しかし、眼前のCIとの共通点、類似点や親近性からCIの役に立ちたい思いが高まり、その一つとして自己開示を思いつく。この役に立ちたい思いが不安やお

それを上回った時に初任Thは自己開示に踏み出すと考えられる。そして、この過程の振り返りを契機として、自律的で主体的な臨床家としての態度や、個人的側面を活用した柔軟で自分らしいTh像の模索が促されると考えられる。

職業的発達の観点から、訓練生や初任Thと、指導者やスーパーバイザーがそれぞれ扱うべき事柄についていくつかの示唆が得られた。

【一次研究及び引用・参考文献】

Bottrill, S., Pistrang, N., Barker, C., & Worrell, M. (2010). The use of therapist self-disclosure: Clinical psychology trainees' experiences. *Psychotherapy Research*, 20(2), 165-180.

草岡章大・渡邊誠(2019)初任セラピストの自己開示へのためらいと職業的自己の発達に関する質的研究 人間性心理学研究, 37(1), 43-55.

草岡章大(印刷中)自発的自己開示体験が初任セラピストの職業的自己に及ぼす発達促進的影響に関する質的研究. 北海道大学教育学研究院紀要, 138.

Levitt, H. M. (2018). How to conduct a qualitative meta-analysis: Tailoring methods to enhance methodological integrity. *Psychotherapy Research*, 28(3), 367-378.

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

日本人間性心理学会 第40回記念大会
プログラム・発表論文集

大会準備委員長：金子 周平

日本人間性心理学会 第40回記念大会準備委員会 事務局：
九州大学大学院人間環境学研究院 金子研究室内
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
E-mail：2021jhpc@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

